

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉援助演習Ⅲ		選択	2	4	後期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
田村 正人	B308	masato.tamura	水曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>学生が精神保健福祉援助実習で体験した事例から理論と実践の統合について理解をし、対人援助技術、集団援助技術、地域援助技術や、実践モデル、アプローチなどに関する演習に取り組み、個別の体験を普遍化して、専門的援助技術として概念化と理論化し体系立てる能力を涵養することを目的とする。</p> <p><概要>各自の実習における個別の体験や事例に基づいて、グループワークやロールプレイ、スーパービジョンなどによる実技指導を行い、実践的な知識と技術が習得できることを目指す。</p>				
学習上の助言	実習指導担当教員と実習の振り返りを終わらせてから、演習に臨むこと。				
教科書	教科書は指定しない。				
参考書	精神保健福祉援助演習 (基礎・専門) 第2版 (新・精神保健福祉士養成講座 8) /編：日本精神保健福祉士養成校協会/中央法規出版				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	実習施設、関連機関、実習先の地域について説明することができる。			HSU(3)(6)、WP(2)	
②	精神保健福祉援助に係る知識と技術について理解し、実践することができる。			HSU(3)(6)、WP(5)	
③	自己覚知したことを説明することができる。			HSU(6)、WP(4)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (演習の進め方、評価についての説明)、実習後演習の意義について理解する。	講義	精神保健福祉援助実習で体験した場面や悩んだ場面などをまとめる作業を行う。	4	
2	実習の振り返り① (価値・知識・技術の視点から整理を行う)	演習		4	
3	実習の振り返り② (印象的な出来事・インシデントシートを作成する)	演習		4	
4	実習の振り返り③ (印象的な出来事の発表・ディスカッションを行う)	演習・GW	実習の振り返りとグループワークで共有し、学びや気づいたことを整理する。	4	
5				4	
6				4	
7				4	
8				4	
9				4	
10	実習の振り返り④ (インシデントシートの発表・ソーシャルワークの視点から考察する)	演習・GW	インシデントシートを通して自身の考えとソーシャルワークの根拠との擦り合わせを行い、ソーシャルワークについて考察する。	4	
11				4	
12				4	
13				4	
14				4	
15				4	
試					

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	0	0	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	0	5	5
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	15	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	15	15
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	15	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	15	15
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	15	15
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	20	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	演習における参加状況、取組みの状況並びに提出課題の達成度により評価する。				講義中に総評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>精神保健福祉士取得希望者は必ず受講すること。</p> <p>実習先への提出物、実習日誌、自己評価表を持参し演習に参加すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面授業で実施するが、大学が公表している感染対策及び教員が示す方法を遵守すること。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によっては Teams を使った同時双方向型授業もあり得る。 ・Teams を使った同時双方向型授業になった場合は、授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 							